

個別事業費	5,078 千円
交付金額	2,539 千円

## 地域の実情と課題

- 働く女性は増え続け、生産年齢人口(15～64歳)における女性の就業率は7割超、労働力人口に占める女性の割合は4割超となった。  
一方で、企業の経営層、管理職層ははまだ8割超が男性(上場企業の女性役員:10.6%、女性管理職比率:課長級13.2%、部長級8.3%)であり、企業における女性活躍が広がるためには、男性経営者等の理解、取組が不可欠。
- 本県では、企業数の9割超(99.8%)を中小企業が占め、従業員数でも約8割(77.3%)を占めており、女性活躍に取り組む企業を増やすためには、中小企業への浸透が不可欠。
- 国は、女性活躍を推進するため、企業に対して、男女の賃金の差異、女性の管理職比率、男女別の育児休業取得率などの情報開示を求める動きが活発化しており、その動きは段階的に中小企業にも広がっていく流れにあることから、中小企業における取組の加速化が必要。

## 事業の特徴

- 「福岡県女性の活躍応援協議会」の構成団体の中から、男性の若手経営者が多い経済団体等を選定し、中小企業での女性活躍推進の課題や必要な取組等について考え、協議する場を設ける。

## 事業の効果

- ワークショップの有用度に関しては、参加者アンケートで「とても参考になった」「参考になった」と回答した方が、82%であり、満足度の高い結果となった。
- 参加者からは「具体的な事例をお示し頂き、参考になった」「取り組むべき課題が見えて参考になった」「企業側が変わる必要性を強く感じた」など、各社の取組実践に向けたきっかけとなる機会を提供することができた。
- 中小企業診断士による伴走支援では、経営者が自身の無意識の思い込みに気づき、自社の経営課題解決に向けて即座に行動に移す姿勢が多く見られた。

## 目的・目標

### 【目的】

女性が活躍できる企業経営を中小企業に広げていくため、中小企業の若手男性経営者を主な対象とするワークショップを開催し、行政団体等や行政への提案につなげるとともに、自社での実践を促す。

### 【目標】

- ・経済団体等としての新たな取組 目標:1件以上
- ・参加企業のうち女性活躍に向けた取組を宣言した企業の割合 目標:100%→実績:100%

## 連携団体

### 福岡県女性の活躍応援協議会

福岡県、福岡労働局、福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県経営者協会、福岡県商工会議所連合会、福岡県商工会連合会、福岡県中小企業団体中央会、福岡県中小企業家同友会、福岡県中小企業経営者協会連合会、福岡県農業協同組合中央会、日本労働組合総連合会福岡県連合会、日本青年会議所福岡ブロック協議会  
(九州経済産業局、福岡県信用金庫協会、福岡県建設業協会、福岡県情報サービス産業協会、福岡県機械金属工業連合会、福岡県トラック協会、福岡県中小企業診断士協会、福岡県社会保険労務士会)※()は実務者会議のみ  
福岡県内の市町村及び福岡県市町村男女共同参画センター

## 今後の課題

- 令和7年度は、講演会1回、ワークショップ3回の計4回開催。  
「多忙のため、複数回の参加は難しい」との声が多く、継続の参加者が少なかったため、参加企業が宣言した取組の進捗確認やフォローアップが困難であった。  
今後は、継続参加者の増加を図り、課題の洗い出しから取組の宣言、進捗確認やフォローアップまでを一貫して実施できる運営体制の構築が必要。

## 若手経営者による女性活躍推進ワークショップ運営事業

女性が活躍できる企業経営を中小企業に広げていくため、中小企業の若手男性経営者を主な対象とするワークショップを開催し、行政団体等や行政への提案につなげるとともに、自社での実践を促す。

【参加対象者】団体に所属する若手経営者 約25名

【内容】

- 8月29日 講義・講演
  - ・講演
  - ・女性活躍に取り組む先輩経営者の事例紹介
- 10月3日 第1回ワークショップ
  - ・各企業が直面している課題や必要な取組を検討
  - ・各企業が90日間の行動計画「アクションプランシート」を作成し、グループ内で宣言
- 10月23日 第2回ワークショップ
  - ・参加する経済団体としての課題や取組方針について意見交換、検討
- 11月12日 第3回ワークショップ
  - ・ワークショップの意見をもとに以下の3点について整理
  - ①所属する経済団体に対し、経済団体としての取組を提案
  - ②行政に対し、必要な施策を提案
  - ③女性活躍に向けた取組を宣言



ワークショップ状況